

## 1992～1993年度

### 会 長 方 針

会長 前 田 三 男

我が北ロータリークラブは、クラブの簡素化、合理化、冗費節約型運営の「手づくりクラブ」として発足し10年目を迎えました。この大事な時に会長の大任をおおせつかりましたが、ロータリーについてはまだまだ不勉強の身であります。この重大なる責任を全う出来るか不安であります。力の限りを尽して精一杯頑張る所存ですので、会員の皆様の御協力をお願いします。

1. 1992-93年度の国際ロータリー会長クリフォード L. ダクターマン氏は、7つの目標を示され、

“まことの幸福は 人助けから”

“Real Happiness is Helping Others”

これは華やかさ絢爛にあふれたメッセージではありません。それは単に全人類の願望を示すものに過ぎません。人助けが私達自身にまことの幸福をもたらすことを見出した時、私達は宇宙の偉大な法則の一つを発見します。そして世界中のロータリアンが自分自身の人生の中にこのテーマの意義を見出してくださることを切望すると述べられました。

2. 川村謙二ガバナーは、このテーマを充分理解されてクラブ自身が企画され運営し、奉仕の理想に向かって進んで下さいと云っておられます。

3. 我が福岡北クラブは10周年目を迎えます。この節目の年にですので現在迄の経過、実績をふまえ更に前向きに進めたいと思います。

- (1) 節約型経営の継続。
- (2) 明るく気楽に肩を張らずに、例会出席が楽しくなるムード作りをする。
- (3) 親睦はクラブ活動の原動力であることを認識し、充実した活動を行う。

(4) 役員、委員長丈にまかせることなく、全員が参加するようにする。

(5) クラブ協議会及びフォーラムでは、テーマのもとに積極的な意見の交換を行い、運営の改善に努力する。

#### 4. 委員会活動に就いて

(1) 会員増強（現在人員の上のせと最少とも70名の確保）

(2) ホームクラブへの出席率の向上を計る。

(3) ローターアクト新設の準備。

(4) 社会奉仕活動として高令化社会への対応及び環境問題について我々は何をなすべきかの研究と推進。

(5) その他各委員会活動の充実。と活性化を計る。

#### 5. 創立10周年記念行事の実施